

2024年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	☒ 一般入試 ☐ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ アイヌ・先住民学 ）
出題の意図	アイヌ・先住民学では、ひとつの学問領域にとどまらない学際的研究が求められる。本問題は、アイヌ・先住民学講座での研究に必要な基礎知識について問うとともに、専門分野に関する知識やその説明力について、学部レベルでの達成度を確認するものである。 □1 は必答問題として、アイヌ・先住民に関する法的および政治的な状況についての基礎知識を問うものである。 □2 は選択問題として、アイヌ史研究の基本となる資料に関する知識を問うものである。 □3 は選択問題として、民族的出自や文化にとどまらないアイデンティティ形成要素の複雑性に関する理解など、先住民および非先住民の社会学的研究に関する知識を問うものである。

2024年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） アイヌ・先住民学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 2枚を配付する。

以下のⅠ（必答問題）と、Ⅱ，Ⅲ（選択問題）から選択した1問の計2問に解答しなさい。必答問題と選択問題の解答は、別の解答用紙に記入し、それぞれの解答の冒頭に、解答する問題番号を明記すること。

Ⅰ （必答問題）

二風谷ダム裁判において札幌地裁は、国が少数民族の文化等に影響を及ぼすおそれのある政策を決定ないし実施する場合、国には「これに十分な配慮を施す責務」があるとし、先住民族の文化等については、「少数民族の場合以上に配慮を要する」と判示した。また、「先住民族の権利に関する国連宣言」は採択されているが、「少数民族の権利に関する国連宣言」はない。このような現状の差異は、先住民族と少数民族のどのような差異によると考えられるか論じなさい。

Ⅱ （選択問題）

アイヌ史研究において、文献史料と考古資料を活用する際に留意すべき点について、それぞれの特徴に言及しつつ論じなさい。

Ⅲ （選択問題）

「アイデンティティ（民族的出自・文化などによる）」と「無意識のバイアス」について知る所を書きなさい。